

住民流福祉総合研究所

サービス事業

〔実績一覧〕

「住民流福祉総合研究所」では、どんなサービスをしているのか？ 具体的にはこれまでどんなサービスをしてきているのか。これまでの実績を整理しました。

1.地域福祉(活動)計画等の策定協力

行政の地域福祉計画や市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画の策定に参画。計画書の作成に協力。

- (1)長野県須坂市社会福祉協議会の「市地域福祉活動計画」にアドバイザーとして参画。計画書「助け合い起こし」の作成に協力。以降、計画の実行にも引き続きアドバイザーとして関与。
- (2)熊本県人吉市の地域福祉計画の策定に協力。担当課と一緒に、市内10数か所で支え合いマップづくり。その結果をもとに計画案を作成。
- (3)鹿児島県大和村の依頼で、村内のすべての集落で支え合いマップづくり。その結果をもとに、集落ごとの取り組み課題を抽出し提案。

2.その他の地域福祉関連事業への協力

保健福祉関連機関が特定の地域福祉関連事業を実施する場合に、その事業全般についての協力。報告書等のまとめも。

- (1)群馬県前橋保健福祉事務所の「住民流保健医療福祉ネットワーク事業」(厚生労働省地域保健推進特別事業)のスーパーバイザーとして協力。住民流福祉のまちづくりの調査研究を目的に、12地区で支え合いマップ作り。
- (2)長野県駒ヶ根市社会福祉協議会の「ふれあいのまちづくり事業」に協力。10数ヶ所で支え合いマップを作成し、「ふれあいのまちづくり」の事業課題を抽出。

冊子「駒ヶ根市における住民の支え合いマップ」を作成。

- (3)安城市社会福祉協議会に協力、町内福祉活動計画策定モデル事業に参画、町内会の災害対応等各種事業にアドバイザーとして関与、「町内会福祉活動マニュアル」をまとめる。
- (4)長野県社会部の依頼で、災害を主テーマとした支え合いマップづくりの普及事業に協力。県下市町村を巡回してマップづくり指導。
- (5)東京都社会福祉協議会に協力、シニアボランティア推進事業に継続的に関わる。
- (6)東京都小平市社会福祉協議会に協力して、ボランティアアドバイザーの養成事業に継続的に関わる。
- (7)北海道民生委員児童委員連盟の、マップを使った地域支援事業に協力。十年にわたってモデル民協のマップ作りと取り組み課題の抽出を側面支援。

3.研究委員会への協力

保健福祉機関団体の各種研究委員会に参画。研究企画及びその実施方法の組み立てから、研究報告書のまとめまでを担当。

- (1)さわやか福祉財団の「近隣型助け合い推進委員会」委員長。まとめた冊子①「『助けて！』と言えますか？」②「近隣型助け合いハンドブック」③「近隣型助け合い活動事例集」
- (2)高齢者認知症介護研究・研修センター主催「認知症高齢者の在宅生活を支える地域ケアサービスの方策に関する研究委員会」（厚生労働省委託研究）委員長。まとめた冊子①「助けられ上手さん」等。
- (3)厚労省社会援護局の主催の「これからの地域福祉のあり方に関する研究委員会」に参加。

4.冊子・単行本の作成協力

保健福祉機関・団体の各種冊子の作成に協力。又は作成を受託。

- (1)全国老人クラブ連合会の依頼により、「仲間さがし—9つの秘訣」を執筆。
- (2)全国ボランティア活動振興センターの依頼により「ボランティアハンドブック—むすんでひらいて」を執筆。
- (3)健全育成推進財団（全国児童館連合会）の依頼により「超発想法—できる児童厚生員のためのワークブック」を執筆。
- (4)勤労者マルチライフ支援センターの依頼により「社会・会社・地域を元気にす

- る「社会参加活動事例&ヒント集」の作成に協力。
- (5)日本レクリエーション協会の依頼により、福祉レク・ワーカー向け教材「福祉レクリエーション援助の方法」の執筆に参加。
 - (6)新潟県胎内市社会福祉協議会の依頼で、「班ごとマップづくり入門」を作成。
 - (7)健康生きがい開発財団の依頼で、「生きがい情報士」対象の教科書作りに協力。その後も試験問題の出題を担当。
 - (8)静岡県の依頼で、中学生向け福祉読本を作成。また東京都立川市の依頼で小学生向けの福祉読本を作成。

5.講演会、セミナーの開催企画協力

- 講演会やセミナーの企画、実施協力。
- (1)長野県須坂市の社会福祉大会を「助け合い推進大会」に変更。その企画に全面協力。シンポジウム、表彰、寸劇、パンフレット、パネル等。
 - (2)長野県社会福祉協議会の依頼で「全国支え合いマップ研究集会」の開催に協力。
 - (3)助けられ上手講座の開催への協力。パワーポイントのデータやその解説書、その他の関連資料を無償提供。
 - (4)北海道民生委員児童委員連盟の支え合いマップ関連研修用のビデオ作製に協力。

6.住民支え合いマップ関連サービス

- 住民主体の福祉のまちづくりをすすめるために、住民の助け合いの実態を把握する作業は不可欠。そのために各種のサービスを実施。
- (1)一般住民、福祉委員、民生委員、社協職員、ケアマネジャー等対象の住民支え合いマップづくり研修会（入門、専門）の企画協力。
 - (2)特定地区のマップづくりをモデル試作。市町村社会福祉協議会等が、これから本格的にマップづくりを普及させたいという場合、とりあえず本研究所が出向き、数ヶ所で試験的にマップづくり。
 - (3)地域福祉計画（活動計画）をつくる上での基本情報の1つとして、市町村内数十ヶ所で本格的にマップづくりを行い、「地域診断」書を作成。
 - (4)市町村内に継続的に出向き、本研究所でマップづくりを担当、取り組み課題を抽出する。
 - (5)支え合いマップの啓発用の資材を開発、提供。また寸劇のシナリオを開発、その開催指導。

- (6)全国小地域福祉サミットのマップ分科会の企画協力。
- (7)新潟県胎内市社会福祉協議会に協力し、モデル自治会でマップづくり、その結果から取り組み課題を抽出、それを自治会が実践、最後は活動発表大会という一連の事業をこなす。

7.広報紙等への寄稿、ライター派遣

保健福祉機関等が発行する広報誌紙や研究誌への寄稿。また、広報紙に掲載するためのルポやその他の取材記事のために、本研究所がライターも派遣。

- (1)毎日新聞・連載「レッツ・ボランティア」(家庭欄)
- (2)中央法規出版・WEBサイト「けあサポ」連載「アクティブライフ入門一定年夫の上手な育て方」

8.住民流福祉関連の研究集会等の開催

本研究所が主催して開催する研究集会やセミナー。共同研究員等との共催で開くケースも。

<これまでの開催例>

- (1)ボランティア・セラピー研究集会
「ボランティア・セラピー」の発想を深め普及させるために開催。
- (2)支え合いマップを普及させるために、本研究所と共同研究員が共催で全国集会。
- (3)共同研究員の有志が開催する「住民流福祉研究会」。
- (4)都道府県・市町村社会福祉協議会等と協力して「ご近所福祉活動発表大会」を全国各地で開催。岩手県、石川県七尾市、新潟県胎内市、富山県滑川市、鹿児島県、宮崎県小林市、福岡県など。